

「小学校プログラミング教育の手引」について

この度、文部科学省から、「小学校プログラミング教育の手引」を以下のとおり改訂したとの連絡がありましたので、お知らせします。本手引を参照いただき、小学校段階のプログラミング教育の実施に役立てていただけたらと思います。



主な改訂内容

- 1 総合的な学習の時間において、「プログラミングが社会でどう活用されているか」に焦点を当て、企業と連携しながら行う指導例の追加
- 2 総合的な学習の時間において、プログラミングを体験する際、「探究的な学習の過程に適切に位置付くようにする」ことについての説明を充実
- 3 ICT環境・教材の整備の必要性や留意事項について記載

本手引及び概要等の電子媒体については、次の文部科学省ホームページにて御確認ください。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1403162.htm

日南市立油津中学校の取組紹介

がんばりノート

油津中学校の伝統「がんばりノート」とは、通常の練習用の宅習ノートとは違い、以下のとおり様々な工夫がなされた取組です。

ねらい

- ① その日にあった授業内容を、**教科毎に簡潔に自分でまとめる。**
- ② まとめの最初に、「**今日の授業の学習課題**」を書く。
- ③ まとめの途中に、「**授業で何が大事であったかポイント**」を振り返る。
- ④ まとめの最後に、「**今日の授業で分かったこと(授業のまとめ)**」を書く。

これらのねらいを踏まえ「その日の復習、その日のうちに！」をテーマとして取り組んでいる。ノートは、青々と眩しい海に面した校舎を表紙にした油津中「オリジナルノート」(印刷業者の製本)である。

取組の成果

教師は、このような取組(がんばり)を生徒に求めているが、これらの取組は逆に授業の質を高めている。
どの授業も当たり前のように、学習課題(授業のねらい)とまとめ(分かったこと)が連結・提示され、授業にメリハリをもたらしている。

校長先生から

この「がんばりノート」による振り返る力や自分なりに工夫してまとめる力は、**生徒一人一人に将来に渡り大きな力を育む**と考える。

新しいノートを配付する時は、そのようなことを思いながら、生徒一人一人の**がんばりに最大限の賛辞を贈っている。**

ノートの点検は担任の先生が行い、ノートを書き終わったら保護者のコメントをもらう。最後に、生徒は校長先生に提出し、校長先生から新しいノートをもらう。